

岐阜高専 TOPICS

『産学連携イベント「ロボットキッズ大集合2」開催』

岐阜高専では、去る8月25、26日に大垣市のソフトピアジャパンにおいて、十六銀行との産学連携の一環として、地元の子供達にもものづくりの楽しさや大切さを伝える「ロボットキッズ大集合2」を開催した。岐阜高専と同銀行が、産学連携協定の締結を記念して、昨年に続く開催となった。

また、今年と同銀行の創立130周年記念事業を兼ねて開催したこともあり、約4000名の来場者があった。岐阜高専は奥川雅之准教授を中心にロボット技術教育に力を入れており、文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)「創発的なものづくりリテラシー教育活動」が採択されている。レスキュークローラーとよばれるロボットの操縦技術を競うコンテストや、毎年神戸で開催されている大規模都市災害における救命救助活動を題材としたレスキューロボットコンテストに出場する奥川研究室のロボット(ミノーズ)のパフォーマンスのほか、企業や大学等の最先端ロボット技術を紹介した展示も行われ、家族連れにも好評だった。

また、地雷探査ロボット、小型燃料電池工作教室、お掃除ロボット、レスキューロボットの工作教室が行われ、岐阜高専の教員と学生が指導にあたった。受講者のなかには、やっとの思いで作り上げたロボットが動きだすと、喜びの歓声をあげていた。



岐阜高専紹介ブース



現代G P 工作教室の様子